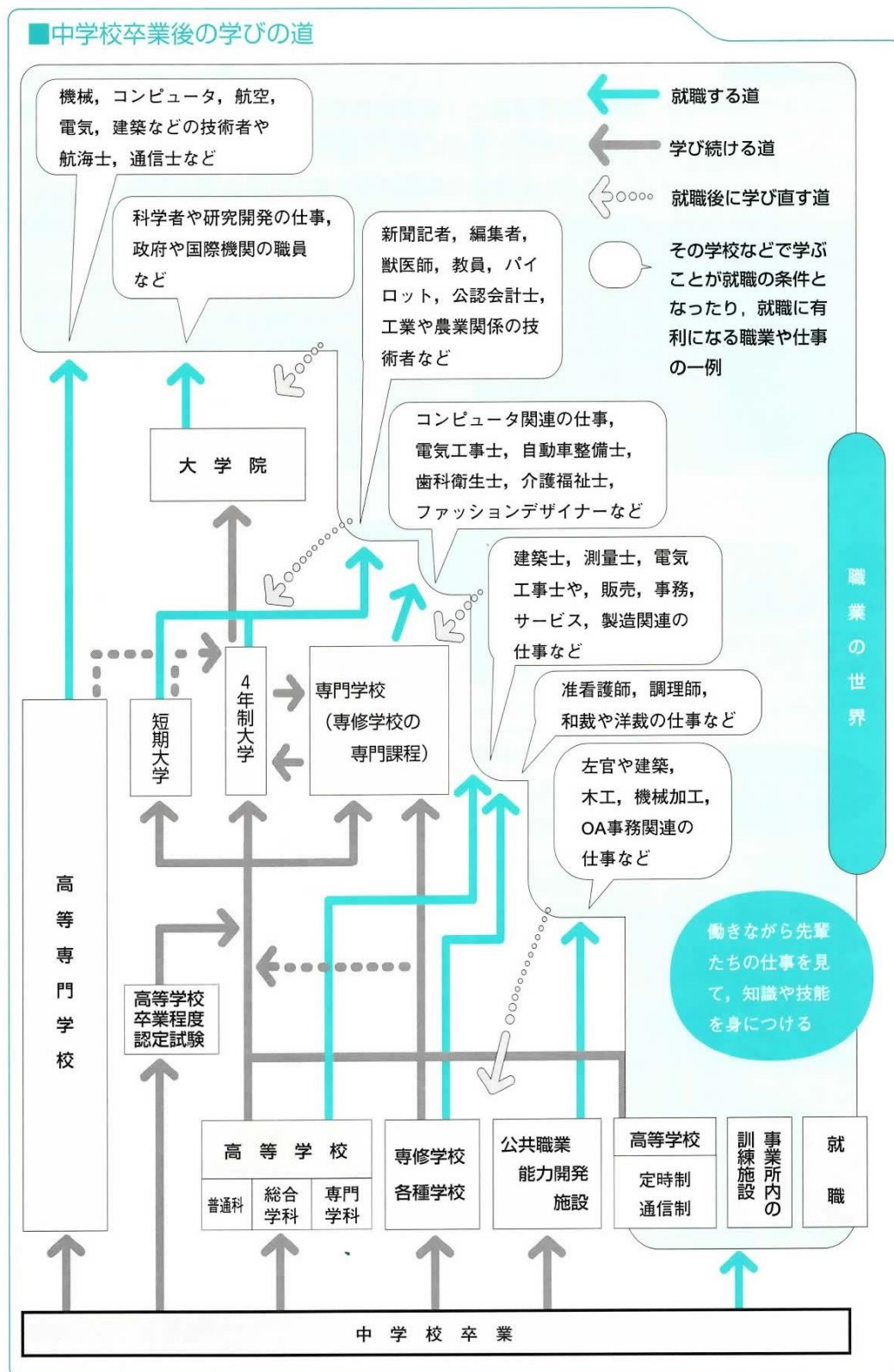


# Process

第3学年 進路だより 第3号  
令和7年 4月23日（水）発行  
柏市立土中学校進路指導部

## ◆中学校卒業後の進路について

この進路だよりと一緒に本日「第1回進路希望調査」を配布しました。各ご家庭で今の段階での進路について良く話し合い、**5月1日（木）までに**提出してください。下記の図を参考に、中学校卒業後の進路を決めていただければと思います。よろしくお願いいたします。



## ◆高校の区分について

①国・公立と私立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立…大学に附属している学校が多い。また工業高等専門学校（5年間）もある。</li> <li>・公立…県や市が設置する最も一般的な高校</li> <li>・私立…建学の精神により、独自の教育が行われている。公費負担が少ないため、学費などは国・公立よりも高い。</li> </ul>	②課程 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日制…昼間に授業を行う学校が最も多い。</li> <li>・定時制…夕方から夜間にかけて授業を行うことが多いが、昼間の定時制も増えている。</li> <li>・三部制…自分の所属する部で、毎日4時間ずつ授業を受け、4年間で、必要な単位を取得して卒業する高校</li> <li>・通信制…郵便などで送られてくる教材を利用して、主に自宅で学習する。登校授業もある。</li> </ul>	③その他の分類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制…各学年で指定された単位を取って進級するのではなく、3年間で必要な単位を取得して卒業する高校</li> <li>・中高一貫校…中学校と高校が連携したり一体化したりして、6年間続けて学べる学校</li> <li>・地域連携アクティブスクール…中学校で十分力を発揮しきれなかったけれども、高校では頑張ろうという意識を持った生徒に、地域の教育力を活用しながら、自立した社会人を育てる新たなタイプの学校</li> </ul>
--	---	--

### ＜主な学科の特色と卒業後の進路＞

	特色	卒業後の進路
普通科	中学校で学んでいるような普通科目を中心に、幅広い知識と教養を身に付ける。2、3年生になると将来を見据えて理数系・文科系と系列を分け、進学や就職に備えて学習する。	進学でも就職でも、幅広い範囲での進路選択が可能である。就職者は年々減少しているが、他の学科に比べて、幅広い分野に進学、就職している。
総合学科	自己の将来をよく考えて自分に必要な学習を自分で選ぶことにより、自分の進路を切り拓いていく力を身に付ける。必修科目と選択科目を自分の興味・関心、進路に合わせて選択するため、個別に様々な時間割ができる。	多くの生徒が進学を選択している。就職は様々な業種にわたる。
工業に関する学科	産業界の様々な分野で働く技術者を養成するために、専門的な知識や技術を学習する。	各専門分野を中心に、開発、製造、工事、保守管理などの技術者として就職する人が多い。
商業・情報に関する学科	商業に関わる仕事に就くために必要な経理、流通、情報処理などの専門知識や技術を学習する。	商業的な専門性を活かして、様々な産業の事務や販売、サービス関係に就職する人が多い。
農業・家庭に関する学科	農業や食に関する職業や、家庭に関する職業に就くことができる人材を育成するために、知識や技能を総合的、専門的に学習する。	直接、農業の分野に就職する人は少ないが、関連する団体や企業、資格を活かした仕事に就く人が多い。

中学校卒業後に高校に進学すると言っても、区分や学科に様々な種類があります。志望校を決定するとき、自分は将来どのような職業に就きたいか、また大学は理系と文系のどちらの大学に進みたいかなど具体的なイメージができると、高校を選びやすいと思います。高校に進学してから後悔することのないように、今のうちに自分で調べて情報収集をし、大いに悩んでほしいです。きっと悩んだ分だけ、納得のいく進路に辿りつくことでしょう。困ったら周りの先生や保護者に相談し、悔いのない進路選択をしてください。